

同窓会報

発行所
倉敷市有城787
住所 岡山学院大学・
岡山短期大学同窓会
TEL086-428-2651
発行者
発行日 平成30年5月

巻頭言

倉敷キャンパスの様子

岡山学院大学学長
岡山短期大学学長
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長

原田博史

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

昨年度、岡山学院大学は平成22年度の1回目に続いて2回目の認証評価を受けた結果、1回目と同じく『岡山学院大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する。』との判定を受けましたのでご報告申し上げます。この詳細については、本学のウェブサイトに公開してありますので是非ともご一読下さい。

さて、毎年、同窓会報に巻頭言を寄稿しておりますが、特筆すべき内容をと熟考するものなかなか目新しいことも見つからず、今回も、「倉敷のキャンパスの様子」を昨年の「鳴方、倉敷キャンパスの様子」でご紹介しきれなかったことについて追加で記すこととしました。

昭和47年移転当時は、倉敷駅から本学まで未舗装のバス路線であった天城線道路も舗装道路に、バス停から校門まで柳の通学路を配しておりましたがそれも岡山県に譲渡し自転車歩道として整備されています。その際、多津美中学校入口にあったバス停も本学側に停車しやすいバス停として移動されました。そして岡山国体の際には、国道2号線バイパス（現在は2号線）から瀬戸大橋線水島インターチェンジへ向けて俗名国体道路が通り、路線バスも国体道路から天城線へとルートも若干変更になっております。また本学の校門も写真の様に、アカデミズムを感じさせるものとしてカリフォルニア大学バークレー校の校門をモデルにして建立しました。

昭和47年、家政学科と食物栄養学科の移転当時の校舎A棟と椿寮1号館は、修繕を重ねてはいますが46年間の風貌を整え、椿寮は個室とし、またA棟は家政学科が使用した洋裁・和裁の実習室等は講義教室に整備され、食物栄養学科が使用した化学実験室など栄養士養成に係る実験室はそのままで岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科の校舎となっております。

昭和53年に竣工した校舎B棟は、今も岡山短期大学の幼児教育学科の校舎として使用し、2階に1000人規模の大講義室を擁したC棟は平成14年岡山学院大学新設時に栄養学実験実習棟に改築し、1階にあった、ピアノレッスン室やML教室、図画工作教室はB棟前にあった体育教室を取り壊して図画工作・ピアノレッスン棟を新設し移転しています。また入学式や卒業式を挙行した大講義室は、平成6年度に建設した体育館・学生食堂棟のアリーナがその役を担っておりますが、全学生が毎週水曜日に受講した一般教育科目の「人間形成と実践」の授業科目が行えるような施設とは言えません。「人間形成と実践」は、人文・社会・自然の3分野にまたがった授業科目で、今日になって重要とされる私学の建学の精神のもとに基礎教養を全学科全学生が一斉に受講する授業科目として先見の明があったもので、平成3年の短期大学設置基準の大綱化により一般教育及び専門教育の区分を撤廃したことを受けて科目を廃止したことが残念でなりません。

顧みれば「人間形成と実践」は、原田勉元学長が昭和55年度から一般教育の教育課程に編成したもので、昭和61年4月の英語科新設の際には、講義概要及び授業計画は次のように一層充実されました。

「人間形成と実践」の講義概要は、『現代の高等教育において、一般教育は特定分野の教育科目として開設され、専門教育の



校門



A棟 昭和47年築



椿寮1号館 昭和48年築



B棟 昭和53年築



C棟 昭和53年築



図画工作・器楽レッスン棟
平成14年築



体育館・学生食堂棟
平成6年築

ための入門的または概論的なものになりがちであるが、この科目は一般教育の人文・社会・自然の3分野にまたがる総合科目として開設し、その命題として一般教育の未来の目的である「人間の在りかた」を上げ、その命題を理解する手段としてそれぞれの3分野の学問的関連を有機的に結び付け、現代を生きる人間にとって無視できない諸問題の領域についてさまざまな角度からの探求により理解することを目的とする。『人間の在りかた』を自己において形成し、さらに実践するためには、人間存在の本質的構造の理解と現代人としての自己の確立を学ぶ必要があり、そのためには学問の3分野の体系をとおし、自己の存在の哲学的認識を理解すると共に、その理解が単に知識にとどまるものではなく、設定命題に基づいたディスカッション及び関連の実践演習などにより自己に体得する必要がある。』

このあとの概要は省略しますが、これに続いて、担当教員、命題に基づく授業内容の設定、外部講師の決定や演習方法などを示し、更に単位認定に係る成績評価の方法及び年間講義スケジュールと講義・演習内容を示しました。

当時としては、今日でいうシラバス(授業計画)を作成した授業科目であり、学生の学習成果を示した教育の質保証を図った授業科目の草創となったといっても過言ではありません。ただ惜しむらくはこのシラバスが学生に示されることなく授業科目が廃止されたことであります。本学がシラバスを完全公開したのが平成8年4月でありますので、その礎は10年を遡るのです。

倉敷のキャンパスの様子：つづく

同窓会総会のお知らせ

第64回同窓会総会は、来る平成30年7月22日(日)の午前11時から倉敷国際ホテルに於いて開催されます。今年は「0」がつく年の卒業生の方々(準備会)が当番です。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいますようお願いいたします。第64回同窓会総会準備会

平成29年度 同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		原 田 博 史
会 長	昭和42年	保	中 塚 志 津 子
副 会 長	昭和41年	保	森 上 敏 子
	昭和58年	幼	平 松 弘 子
常務理事	平成25年	食	北 條 由 貴
	平成29年	食	吉 田 楓
理 事	昭和58年	幼	船 岳 理 恵
	昭和62年	幼	高 岸 益 子
	平成7年	幼	中 務 衣 都 子
	平成14年	食	秋 田 文 恵
	平成18年	食	山 口 泰 明
	平成20年	食	平 野 聡
	平成24年	食	川 上 麻 耶
監 事	昭和44年	食	井 頭 久 子
	昭和52年	幼	西 早 苗
	平成15年	幼	木 村 太 郎

本部便り

平成29年度 第1回理事会(平成29年5月27日)

- 平成28年度事業報告並びに収支決算報告が行われた。
- 平成28年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
- 平成29年度事業計画及び予算について事務局より案が出され、協議の上決定された。
- 平成28年度同窓会栄養士の会計報告がなされた。

平成29年度 第2回理事会(平成29年7月8日)

- 第63回同窓会総会・懇親会の役割が協議決定した。

- 総会次第及び総会の準備を行った。

平成29年度 第3回理事会(平成29年12月12日)

- 第63回同窓会総会・懇親会の報告及び決算について報告があり、その後次回に向けての反省が行われた。
- 第64回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について協議され、平成30年7月22日(日)に倉敷国際ホテルにて開催することが決定した。
- ホームカミングデー(大学主催)が平成29年10月21日(土)に行われ、同窓会も平成24年から26年3月卒の同窓会員に案内状の発送協力をしたと報告があった。

第63回同窓会総会記録

平成29年7月23日(日)11時、原田博史学長をはじめ、他10名の先生方のご出席をいただき、倉敷国際ホテル(桜花の間)において、総会が開催された。

【第63回 同窓会総会】

- 開 会 司会：平松弘子副会長
- 会 長 挨拶 中塚志津子同窓会長
- 名誉会長挨拶 原田博史学長
- 来賓紹介 平松弘子副会長より来賓紹介
- 来賓挨拶 久保豊子先生
- 物故者追悼(黙祷)
- 退任者記念品贈呈
- 役員紹介 役員自己紹介
- 議長選出 北山愛理氏(平成29年食)
- 議 事

(1)平成28年度事業報告並びに決算報告

- 北條由貴常務理事、吉田楓常務理事
- ・理事会…年4回(平成28年5月、6月、12月、平成29年2月)の開催
 - ・準備会…平成28年6月(関西同窓会)、平成29年3月開催
 - ・第62回同窓会総会・懇親会の開催(平成28年7月3日(日) 倉敷国際ホテル桜花の間)
 - ・同窓会補助
 - ・第5回関西同窓会



- ・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
- ・ホームカミングデー（大学主催）に協力
- ・第3回同窓会栄養士会の開催
（平成29年2月18日（土） 研究大会：本学D302
懇親会：第一学生ホール）

(2)監査報告 木村太郎監事

「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)会則の変更 中塚志津子会長

- ・理事の追加
- ・入会金、終身会費について

(4)平成29年度事業計画案並びに予算案

北條由貴常務理事、吉田楓常務理事

- ・理事会…年3回（平成29年5月、7月開催、12月開催予定）
- ・準備会…平成29年6月開催（第63回同窓会総会第2回準備会）
平成30年2月開催予定（第64回同窓会総会第1回準備会）
- ・第63回同窓会総会・懇親会の開催（平成29年7月23日（日））
- ・同窓会報第39号発刊（平成29年4月）
- ・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
- ・ホームカミングデー（大学主催）に協力
- ・第4回同窓会栄養士会の開催（平成30年2月10日岡山学院大学岡山短期大学M棟4階 M401室）
- ・平成29年度の予算案について、全員異議なく了承された。

11. 同窓会栄養士会会計報告 川上麻耶理事
（同窓会栄養士会運営委員）

- ・平成28年度会計報告がなされた。

12. ホームカミングデーのご案内 近藤彩香企画担当

13. 閉 会 森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

平成29年度の同窓会総会及び懇親会は卒業年に「9」がつく年の同窓会総会準備会の運営で開催されました。11名の先生方と42名の卒業生が一同に集い、平成29年3月に岡山短期大学幼児教育学科を卒業した青木友依さん、岡部有香さんの司会進行で懇親会が始まりました。

川崎瑠美（H29.3・食）さんの開会挨拶後、竹原良記先

生に乾杯をしていただき、皆様にぎやかに食事が始まりました。懐かしい同級生や来賓の先生方としばらく会話を楽しましました。余興は原田博史学長先生のカラオケ〈テイクミーホームカントリーロード〉から始まりました。続いて久保豊子先生のカラオケで〈倉敷川〉が歌われました。続いて昭和39年保育科卒業の皆さんから近況報告をしていただいた後に、平成29年幼児教育学科卒業の皆さんからサンサン体操と手遊びを披露していただき、元気に踊って下さった姿に会場は大いに盛り上がりました。その後、平成29年食物栄養学科卒業の皆さんから食育コマ回し体操を披露していただきました。次に、高岸益子（S62.3・幼）さんより、平成28年9月4日にホテルグランヴィア大阪で行われた第5回関西同窓会についての報告をしていただきました。浦上博文先生には、ペギー葉山の〈学生時代〉を熱唱していただき、皆さん一緒に歌っていました。

最後に卒業年に「9」がつく当番年の参加者全員が舞台上に上がり、河原先生の伴奏で毎年恒例になっている〈旧校歌〉〈旧学生歌〉〈大学校歌〉〈短大校歌〉を大合唱しました。そして吉田楓（H29.3・食）さんの閉会挨拶により、第63回同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。

第63回同窓会総会及び懇親会も倉敷国際ホテル桜花の間にてバイキング形式の自由席で開催いたしました。おいしい料理を囲み、同級生や、恩師の先生方と自由に懐かしい思い出話に花をさかせられていました。今回初めて参加したという同窓生の方もいらっしゃいましたがとても楽しんでいらっしゃいました。まだ同窓会総会・懇親会に参加されることがない皆様、久しく参加されていない皆様、毎回楽しく会を開いておりますのでぜひ参加してください。お待ちしております。

ご出席いただきました先生方は、原田博史学長、久保豊子先生、竹原良記教授、狩山玲子教授、尾崎聡教授、浦上博文教授、藤井真理教授、中原眞由美講師、藤澤克



第63回懇親会会席

彦講師、河原真理講師、原田俊孝総務課長でした。ご参加ありがとうございます。次回もまたご参加いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければと思います。



第63回懇親会余興



旧校歌・旧学歌・大学学歌・短大校歌合唱（総会懇親会）

昭和 39 年保育科卒 同期会

私達は昭和39年に保育科を卒業し主に幼稚園・保育園という共通の職種につきました。退職近くになり近郊の同期に声をかけ「有志の会」を結成して14年目を迎えます。70歳を越すと参加も減り解散を考えていた矢先、母校の同期会が今年は卒業年度の最後に「9」が付くことを知り急遽5人参加を申込みました。総会の当日会場で席を探すと、何と原田博史学長さんとご一緒のメインテーブルに5人の名前を見つけて恐縮いたしました。総会のご挨拶の中で学長さんは「入学した学生は退学をしない方針で今年度は全員無事に卒業することができました」と話されました。現在は学科も増え大所帯にもかかわらず半世紀前の私達と同じ学風を貫いておられる事に感銘を受けました。続いて懇親会は料理を頂きながら歌あり体操&手遊び等の楽しい催しが和やかな雰囲気の中で進み、私達は近況報告の中に学生時代の思い出を交えてスピーチをさせてもらいました。○鴨方校舎の石段の門が懐かしいこと。○4年間の内容を短大の2年間で習得しなければならないと励ましていただき、この年から幼稚園と保育園の両方の免許が取得できることになったこと。○原田勉先生には社会人としてどうあるべきか、折りに触れて、お話して下さった事柄が今でも私達の心の中に生かされています。勉先生と原田博史学長さんの顔と雰囲気が似ておられることもあって学生時代の思い出を親しくお話させて頂く事が出来ました。「学園



歌」白土が丘真澄の空に自立の旗は栄光満ちぬ…♪♪も壇上で合唱いたしました。修了後、同期の私達5人と後から合流の1人の6人に別の部屋にてケーキとコーヒーで学生時代を語り合える時間を設けてくださいました。多感な青春時代を思い明日への意欲を頂くことができました。最後になりましたが、会長さんを始め若い役員の皆様温かい気配りに厚く感謝申し上げます。大変お世話になりありがとうございました。

昭和39年 保育科卒 梶原由恵

平成 19 年キャリア実践学科卒 同期会

大学を卒業してからはや10年、久しぶりに同期会を行いました。

現在、30代になった私達はお互いに仕事に子育てに毎日奮闘しており、遠方に住んでいる方が多い為今回は少人数での開催となりました。

今回集まった3人は大学で一緒に勉強を頑張った友人であり、卒業後に大学に就職して共に励まし合いながら仕事を頑張った仲間でもあります。

当時、仕事に対する悩みを相談しあったり、休みの日に食事に行ったりして遊んでいた私達も今ではみんな結婚し、仕事や子育てなどそれぞれの道で頑張っています。

しかし、会えばすぐに昔のように話に花が咲き、時間を忘れて楽しい時間を過ごすことができました。

楽しい時間はあっという間でまだまだ話は尽きませんでしたが、次回集まる日を楽しみに解散しました。

遠方に住んでいる同窓生のみなさんも仕事に子育てに忙しいとは思いますが、次回の同期会開催時には懐かしい仲間に会いにぜひ倉敷へ帰ってきませんか？

平成19年食物栄養学科卒 清水祐梨（旧姓：大森）



平成 29 年幼児教育学科卒 同期会

広島より1名、県内より3名と少人数ではありますが同期会を開催させていただきました。

卒業をして4ヵ月、保育者として現場は違いますが、共に頑張る仲間達と一緒に、学生時代と変わることはない親しみを感じながら尽きることのない話を楽しみました。お互いに初めてのことや慣れないことの連続である仕事のことや、学校でお世話になった先生方や友人達のことを思い出しながら美味しいケーキをいただき1時間程度ではありますが楽しいゆったりとした時間を過ごすことができました。途中、浦上先生や尾崎先生もいらして下さり、仕事についてのことや、新任の先生についてのこと等、私達も気になっていた事をお話することができました。この場をお借りし御礼申し上げます。

岡山短期大学で過ごせた2年間で保育の知識や技術だ



けではなく、共に頑張れる仲間の大切さもしっかりと学べたと実感できる同期会でありました。今回は4名しか集まること

ができなかったですが、また皆さんと集まれる日を楽しみにしています。

平成29年 幼児教育学科卒 岡部有香

人間生活学部 食物栄養学科卒業研究発表会

平成29年8月9日(水)、食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

「難消化性デキストリンのはたらき」 井上怜美
(研究指導：宮崎正博教授)

「脳血管疾患患者の家族歴に関する遺伝子多型の探索」 安藤光平

「岡山における婦人科癌症例の特徴と解析」 木佐貫茜
「死亡年齢と若年発症癌に関する遺伝子の探索」

久保楨留美

(研究指導：清水憲二教授)

「食品衛生分野における手指衛生の重要性と実践に関する研究-1」 伊東亨歩

「食品衛生分野における手指衛生の重要性と実践に関する研究-2」 井上麻那

「食品衛生分野における手指衛生の重要性と実践に関する研究-3」 吉川絵里子

「食品衛生分野における手指衛生の重要性と実践に関する研究-4」 當間あや

「食品衛生分野における手指衛生の重要性と実践に関する研究-5」 西尾俊輝

「食品衛生分野における手指衛生の重要性と実践に関する研究-6」 錦織亨

「食品衛生分野における手指衛生の重要性と実践に関する研究-7」 渡辺茉優

(研究指導：狩山玲子教授)

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み～アレルギー～」 石飛博稀

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み～甲殻類アレルギーについて～」 池田眞衣

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み～果物アレルギーについて～」 中川葉月

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み～妊娠期のアレルギー対応について～」 長井裕菜

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み～青魚のアレルギーについて～」 金本瑞生

(研究指導：中原眞由美講師)

「農業を通じた食育の実践～たまねぎ博士になる～」 難波果菜

「農業を通じた食育の実践～枝豆博士になる～」 中村有希

「農業を通じた食育の実践～夏バテと野菜の関係～」 吉田まゆ

「たまねぎカットによる涙腺刺激を抑制する方法の検討」 広江来韻

「食育イベントで提供する野菜を使った1品の検討」

佐戸谷幸太

「野菜の苦手意識克服を目的とした料理の考案」 石川真希

「野菜摂取意識の向上を目的としたイベントでの食育方法の検討」 金武佳乃子

「野菜嫌い克服を目的とした食育劇の考案」 山根直子

「地域の高齢者を対象とした認知症予防教室の実施」 奥田優佳、塩田ひかり

「自己改善が自己意識にもたらす影響」 村上麻衣子

「自己改善が自己意識にもたらす影響」 中村晃洋

(研究指導：藤澤克彦講師)

「体脂肪率と主食・主菜・副菜の摂取量の関係について」 長谷川奈美

「肥満と飲酒の関連について」 小山侑里

「肥満と運動の関連について」 河西言

(研究指導：高槻悦子講師)

「若年者の嚥下機能について」 三村優花

「若年者の咀嚼と食事について」 山根歩実

(研究指導：川上由起子講師)

岡山学院大学・岡山短期大学同窓会栄養士会

平成30年2月10日13時「本学を卒業した管理栄養士・栄養士そして食物栄養学科の在学生及び教員をまじえ栄養に関する科学と技術の情報を共有し、さらには卒業生、在学生、教員の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与する」ことを目的として設立した岡山学院大学・岡山短期大学同窓会栄養士会の第4回同窓会栄養士会研究大会及び懇親会が開催された。原田博史学長先生、森上敏子同窓会副会長の2名のご来臨を賜り、岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科の教職員8名、同窓生21名、学生16名の計45名が参加した。

【研究大会】

〔基調講演〕

1. 在宅医療が日本を変える
= 歯科と栄養のコラボレーション =
歯科医師 猪原光先生

〔発表題目および発表者〕

○「学校・保育」、「企業」関連

1. 食品メーカーでの商品開発業務
～まさか商品開発することになるとは思ってなかった～
伊藤友里恵(平成27年3月食物栄養学科卒業)
2. 学校栄養士の取り組み～食育に関すること～
津嘉山明美(平成28年3月食物栄養学科卒業)

○「医療・福祉」関連

1. 福祉施設での嗜好調査について
～サービス付き有料老人ホームと特別養護老人ホームの食事の差別化～
桐原美沙(平成28年3月食物栄養学科卒業)
2. 摂食・嚥下機能の向上と個別ケアの必要性
～特別養護老人ホームで摂食・嚥下機能の維持・向上を目指す取り組みについて～
西本優子(平成20年3月食物栄養学科卒業)
3. 医療法人杏仁会 松尾内科病院
～1年目の仕事内容について～
板野彩香(平成29年3月食物栄養学科卒業)
4. 寺岡整形外科病院での管理栄養士の仕事について

～献立作成について～

三好諒子(平成28年3月食物栄養学科卒業)

5. 高齢地域における多職種での栄養管理の取り組みについて
矢須田侑兵(平成19年3月食物栄養学科卒業)

【同窓会栄養士会懇親会】

第4回同窓会栄養士会懇親会は研究大会の終了後、16時30分から本学学生食堂にて開催されました。原田博史名誉会長先生から開会の挨拶をいただいた後、平成20年3月食物栄養学科卒業西本優子さんご発声の乾杯で懇親会が始まりました。歓談中は管理栄養士として活躍されている先輩方と直接お話ができる機会に学生、教職員ともに質問をさせていただくことが出来ました。歓談の後、同窓生の自己紹介や、3年生有志によるクイズが行われ、岡山学院大学にまつわる問題が出題されとても盛り上がりました。その後、各学年代表者2年生宮本茉央さん、3年生八木麻友美さんが先輩方に感謝の気持ちを述べました。参加者全員で岡山学院大学校歌を斉唱した後、森上敏子同窓会副会長の閉会の挨拶により、第4回同窓会栄養士会懇親会は無事終了致しました。

研究大会で発表して下さいました同窓生の皆様ありがとうございました。これからも本会は継続して研究大会を開催してまいりますので、管理栄養士、栄養士として、また研究の道へ進まれご活躍の皆様の発表、ご参加を心よりお待ちしております。



幼児教育学科 子どもといっしょに発表会

平成29年12月1日(金)、本学体育館において「子どもといっしょに発表会」が開催された。倉敷市内の幼稚園、保育所、施設などから多数の子どもたちを招き、賑やかな会となった。プログラムは以下の通りである。

【プログラム】

○発表

《吹奏楽演奏》 研究指導：平松泰一講師

- 1.おもちゃのチャチャチャ 2.森のくまさん 3.ドレミの歌
4.あわてんぼうのサンタクロース

《コーラス》 研究指導：畑田弘美講師

- クリスマスソング
1.きよしこの夜 2.ジングル・ベル 3.あわてんぼうのサンタクロース

ディズニーマニエーション映画『アナと雪の女王』より

- 4.とびら開けて 5.Let It Go～ありのままで～

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理教授
ともだちほしいなおおかみくん

《幼児ダンス》 研究指導：藤井真理教授

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理教授
やさいのパーティおおさわぎ

《バトントワリング》 研究指導：藤井真理教授

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理教授
ともだちや

○遊びの広場

《手作り玩具コーナー》 研究指導：関野智子講師
手作り玩具「輪投げ遊び」、ものづくり体験「リースブレスレット作り」

手作り玩具「紙管ほっくり遊び」「紙管ゴルフ遊び」、「ダンボールで秘密基地を作ろう」、「みんなで大きな絵を描こう」

《おはなしのコーナー》 研究指導：浦上博文教授
絵本の読み聞かせ「そらまめくんのベッド」「おにいちゃんにはちみつケーキ」「お月さまってどんなあじ?」「へんしんトンネル」

紙芝居「ちいさなきかんしゃ」「なにがつれるかな」
エプロンシアター「さるかに話」「3びきのやぎのガラガラドン」「おおきなかぶ」「3びきのこぶた」「はらぺこかいじゅう」

《おもちゃコーナー》 研究指導：大賀恵子講師
入るかな、どれがすき?、寒天作り



幼児教育学科 卒業研究発表会

平成30年1月12日(金)、本学情報処理教育センター3階D302教室において卒業研究発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

卒業研究「言葉」(研究指導：浦上博文教授)

- 「幼児の言葉を育てる保育者を目指して」
小川咲姫 金阪渉 久保結菜 近藤優花 西山大輔
早川瑞姫 西本一央

卒業研究「英語」(研究指導：濱田佐保子教授)

- 「幼児期における英語教育-手袋シアターを題材にして」
片山政子 國生佳花 竹盛葉莉恵 旗手克弥
和田千尋

卒業研究「図画工作」(研究指導：関野智子講師)

- 「楽しい発表会に向けて」
飯田真奈美 内田絢子 岡本芹菜 武村天太
「実習に向けての玩具づくり」
佐野花梨 野間千尋 福元菫
「発達段階に合わせた玩具作り」
岡田有加 亀山奈菜 宮田沙弥香 門田恵美
「身近な物で子どもたちが興味を持てるような玩具を作る」
佐藤加奈 古森未悠 大田佳奈

卒業研究「表現」(研究指導：藤井真理教授)

- 「卒業研究『表現』を通して得られた学習成果-PDCAサイクルに基づいて-」
小川詩織 川上南海 古賀夢翔 齋藤陽 白根里香
藤井舞花 森岡裕美

卒業研究「児童心理学」（研究指導：大賀恵子講師）
「触覚に着目した乳幼児の発達段階に及ぼす影響」
青山苗加 磯野佳奈 小林唯 佐々木未菜 三宅美穂
兵藤重弥乃

卒業研究「吹奏楽」（研究指導：平松泰一講師）
「生きた音楽を通じた情緒教育」
亀山瑞生 松井えみ 村上千奈津

卒業研究「社会」（研究指導：尾崎聡教授）
「ゼミ継続課題「地域の文化を児童文化財にする」」
奥田莞菜 神原可奈 久保田菜々 河塚玲実奈
村崎茉那

卒業研究「教育学」（研究指導：都田修兵助教）
「保育者における「教育愛」について」
古山知香 正岡芹那
「幼児期の「独り言」について」
槇枝朋佳 森矢瑞生

卒業研究「声楽」（研究指導：畑田弘美講師）
「発表会でのコーラス披露の検証と幼児教育における音楽の必要性についての考案」
塩見奈津 谷口友美 辻井真人 藤井里紗 守屋辰紀

卒業研究「情報」（研究指導：張秉煥准教授）
「保育アプリと保育現場」
小見山理香 谷口茉綾 見戸真吏奈 山田直加

幼児教育学科 子どもといっしょに運動会

平成29年5月26日（金）、本学体育館において「子どもといっしょに運動会 忍者の修行に行こう！」が開催された。倉敷市内の幼稚園、保育所、施設などから多数の子どもたちを招き、賑やかな会となった。プログラムは以下の通りである。

〔プログラム〕

準備運動（動物のまねっこ かけっこ でんでんむし 川跳びなど） クモの巣ぬけ 抜け穴くぐり 抜け穴掘り 手裏剣 壁抜けの術 屋根ばしり 抜き足・差し足 など

『同窓会 50年の歩み』 記念誌のご案内

なつかしい学生時代の様子や校舎の写真が詰まった同窓会50周年記念誌(平成15年10月発行)はいかがですか？

- 販売期間：在庫の限り
- 価 格：800円（記念誌¥500 + 送料¥300）
- 申込方法：郵便振替（郵便局にてお振込みください。）

口座番号：01220 - 5 - 4076
加入者名：岡山学院大学岡山短期大学同窓会

通 信 欄：「『同窓会50年の歩み』希望、ご住所、お名前、電話番号」をご記入ください。（領収書は大切に保管ください。）



【お問い合わせ先】

岡山学院大学岡山短期大学同窓会事務局
〒710-8511 岡山県倉敷市有城787
(Tel: (086) 428-2651)

岡山学院大学・岡山短期大学 後援会事業報告

1. 組織概要

- ・岡山学院大学岡山短期大学後援会
平成28年度理事
（岡山学院大学 13名 岡山短期大学 10名）
- ・設置する学校・学部・学科
岡山学院大学 人間生活学部 食物栄養学科
岡山短期大学 幼児教育学科
- ・当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況
（平成28年5月1日現在）

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	年度H14	人 40	人 160	人 136	H22定員変更 100→40
	計		40	160	136	
岡山短期大学	幼児教育学科	年度S33	人 100	人 200	人 156	H22定員変更 150→100
	計		100	200	156	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専任教員	0	16	14	30
専任事務職員	2	8	9	19

兼任及び非常教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼任教員	10	4
非常勤教員	11	15

2. 事業の概要

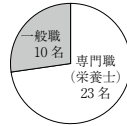
- ・校舎内清掃代の助成
各棟清掃代金の助成 3,090,029円
- ・無料通学バス運行費用の助成
倉敷駅前（7番乗場）～本学A棟前間の無料直行バス運行（登校時2便・下校時3便）
平成28年度 運行日数 192日、延べ 26,192人乗車
無料通学バス運行費用の助成 9,331,200円
- ・課外活動に対する助成
 - 第7回地域訪問栄養長寿教室
学生移動用貸切バス代助成 48,600円
栄養診断測定機器運搬用レンタカー代助成 14,472円
同上レンタカーガソリン代 309円
（平成28年7月16日（土））
 - 第8回地域訪問栄養長寿教室
学生移動用貸切バス代助成 59,400円
栄養診断測定機器運搬用レンタカー代助成 13,824円
同上レンタカーガソリン代 390円
（平成28年10月15日（土））
 - 平成28年度 食育栄養まつり参加
学生移動用貸切バス代助成 64,800円
（平成28年11月20日（日））

平成29年3月卒業生就職先等状況

岡山学院大学

人間生活学部 食物栄養学科

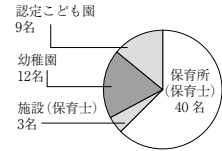
卒業生数 36名
就職希望者数 33名
専門職(栄養士) 23名
一般職 10名



岡山短期大学

幼児教育学科

卒業生数 67名
就職希望者数 64名
保育所(保育士) 40名
施設(保育士) 3名
幼稚園 12名
認定こども園 9名



岡山学院大学・岡山短期大学 ITリテラシー教育のための拠金者一覧

(平成29年1月～12月の拠金者)

卒業年・学科	氏名	(旧姓)
S29	奥 川 水 子	(小 野)
S29	堀 小 夜 子	(渡 辺)
S32	伊 藤 美 津 子	(内 山)
S32	岡 田 登 代 子	(景 山)
S38	大 塚 裕 子	(中 田)
S38	野 口 弘 子	(野 口)
S39	岩 田 典 子	(藤 井)
S39	出 口 ヤ ウ	(寺 沢)
S40	池 田 丘 子	(吉 田)
S40	弓 場 則 子	(岡 野)
S40	小 林 慶 子	(渡 辺)
S40	佐 藤 光 江	(小 畑)
S41	森 上 敏 子	(岡 野)
S42	梅 木 絹 枝	(金 澤)
S44	湯 畑 富 貴 恵	(弓 井)
S47	白 神 富 子	(大 塚)
S47	中 川 満 智 子	(石 井)
S52	中 土 井 悦 子	(佐 藤)
S55	横 山 宏 子	(梶 並)
S58	澤 佐 智 子	(岡 野)
S60	矢 谷 宏 美	(菅 野)
S61	中 川 協 子	(宮 野)
S61	三 宅 恭 子	(今 田)
S62	高 岸 益 子	(野 瀬 田)
H3	田 口 明 子	(小 嶋)
H23	川 井 智 絵	

拠金内訳	
50,000円×1名	50,000円
20,000円×1名	20,000円
16,000円×1名	16,000円
10,000円×4名	40,000円
5,000円×18名	90,000円
3,000円×1名	3,000円
合 計	219,000円

岡山学院大学・岡山短期大学 ITリテラシー教育のための拠金の御礼 および拠金継続について

母校のITリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

しかし、下記のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かいご支援をいただき目標額を達成するべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成19年度に、第1回目の贈呈(図書館ノートPC12台〈300万円〉)を行っています。

拠 金 総 額

年 度	拠 金 額	振込手数料	累 計
平成14・15年度	1,927,624円	16,220円	1,911,404円
平成16年度	590,000円	4,420円	2,496,984円
平成17年度	363,000円	4,430円	2,855,554円
平成18年度	280,000円	3,930円	3,131,624円
平成19年度	335,000円	4,920円	3,461,704円
平成20年度	287,000円	5,360円	3,743,344円
平成21年度	202,000円	0円	3,945,344円
平成22年度	215,000円	0円	4,160,344円
平成23年度	210,000円	0円	4,370,344円
平成24年度	1,190,000円	0円	5,560,344円
平成25年度	133,000円	0円	5,693,344円
平成26年度	138,000円	0円	5,831,344円
平成27年度	113,000円	0円	5,944,344円
平成28年度	156,000円	0円	6,100,344円
平成29年12月末現在	219,000円	0円	6,319,344円
合 計			6,319,344円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。

拠金発起人一同

平成28年度 収支決算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
繰 越 金	394,464	会 議 費	480,980
当年度新入会員会費 受 入 収 入	1,845,000	交 通 費	125,193
翌年度新入会員会費	1,545,000	印 刷 費	868,469
総 会 費	311,000	通 信 費	1,132,051
50年の歩み冊子収入	1,000	慶 弔 費	0
拠 金 収 入	156,000	消 耗 品 費	28,144
雑 収 入	12,127	手 数 料 支 出	6,738
同 窓 会 栄 養 士 会 よ り 返 金	300,000	同 窓 会 栄 養 士 会 助 成 金	25,300
合 計	4,564,591	関西同窓会参加費 払戻振込超過金	500
		国家試験対策援助金	72,048
		予 備 費	
同窓会館準備費	10,000,000	翌年度新入会員 会費支払支出	1,545,000
中国銀行スーパー定期	6,000,000	次年度繰越金	280,168
笠岡信用金庫定期預金	5,000,000	合 計	4,564,591